

特定の組織にとらわれない

無所属

国分寺市議会議員

みな がわ

皆川りうこ

ニュースレター

95号
2023年2月発行

ホームページもご覧ください! <https://minagawa-riuko.jp/>



発行：皆川りうこの会 "Let's" 国分寺市東恋ヶ窪6-7-31 TEL/FAX: 042(324)4442 E-mail: riuko080@ybb.ne.jp

今も、そしてこれからも、命、人が大切にされるまちを目指して

今こそ大事な人と人とのつながり、顔の見える関係づくり

コロナ禍によりこの3年間は誰もが経験したことのない環境での生活となりました。さらには、ウクライナ侵攻、元首相の襲撃事件、旧統一教会問題、物価高騰。不適切保育・介護現場、子どもの自殺等々、不安な毎日が続いています。このような中で、ICTデジタル社会の急進展にはただただ驚くばかりですが、一方で、人との関係性、つながり、すなわち“アナログ社会”の大切さも痛感しています。

これからも新たな視点と旧来の大切にしてきたものを取り入れ、人のつながりを大事にする政策を推進したいと思えます。

さまざまな経験とともに、今の自分があります

私自身、20代で国分寺市に移り住み、3人の子育てをしてきました。子どものアトピーがきっかけではじめた生協活動、3小ではPTA役員も務めました。50代になり、虐待を受けた子どものためのシェルターのスタッフとして勤務し、また2008年に編入した大学では心理学を学ぶなど、多様な視点をまちづくりに生かしてきました。

無所属だからこそ、しがらみのない立場で、「是々非々」で判断する姿勢で

地方自治体においては、二代表制のもと一人一人の議員が責任を持ち、行政の監視機能を発揮し、政党、団体に捕らわれずに判断すべきと考えます。私自身、どの政党、団体にも属さない、しがらみのない立場で、議案等の賛否については是々非々で判断し発言してきました。また、政策決定の仕組みは多数決によりますが、それは手法の一つであり、必ずしも正しい選択とは限りません。多様性、少数意見を尊重することは、寛容な社会をつくるためにも必要不可欠です。

私、皆川りうこはこれからも、しがらみのない立場で、民主的なまちづくりに取り組んでまいります。



プロフィール

- 1957年 岩手県北上市生まれ
- 跡見学園女子大学短期大学部を卒業後、企業への就職を経て結婚。1980年より国分寺市在住。子育て中に生活クラブ生協や第3小のPTA活動に携わる。
- 1995年 国分寺市議会議員初当選
- 2007年 4期目に挑戦するも惜敗/同年、子どものシェルター勤務
- 2008年 跡見学園女子大学 文学部臨床心理学科3年に編入(2010年卒業)
- 2009年 国分寺市議補欠選挙にて再選
- 2011年 5期目当選から、2019年7期目の現在に至る

【議会活動歴】

議長、副議長、監査委員、建設環境委員長、予算特別委員長、浅川清流環境組合議会議員等 歴任

【所属会員】

自殺対策支援センターライフリンク、自治体学会、日本子ども虐待防止学会、ごみ環境ビジョン21、全国フェミニスト議員連盟、認定NPO法人トラ・ソウ保護基金 等

【認定資格など】

こども発達支援サポーター、ユニバーサルマナー検定2級、ハンドセラピスト認定など

【趣味など】

ヨガ、リコーダー演奏、映画・音楽鑑賞、ハンドマッサージ

応援します！

生きる力

暮らしを支えることは、生きることを支えることです。多種多様な地域資源や人材により、生きるための支援（セイフティネット）をさらに進めます。

認知症になっても
安心して暮らせる
まちづくり



多様な学びの保障

学校以外でも安心して学べる環境

ジェンダー平等の推進

障がい者差別の解消

合理的配慮を進めます



子育て、保育環境の充実

コミュニティ、人を大事にします

デジタル偏重にならないように

正します！

税の使い方

市民参加、情報公開は市政運営の基本です。税金の使い方がわかるよう行政情報の積極的公開・評価・改善を進めます。



実現 したこと

(一部掲載)



平和学習の企画で講演された
ノンフィクション作家の澤地久枝さんと



浅川清流環境組合の視察
寄居バイオガスプラント施設見学



東京レインボープライド2022



地域活動として自宅を「子ども110番の家」に登録
毎週金曜日に朝の見守をやっています

推薦人

私たちも皆川りうこさんを
応援しています！

宮岡 佳子

跡見学園女子大学心理学部教授

皆川りうこさんは、心理学を学ぶために大学に編入しました。その積極的な姿勢は、親子ほど年齢差のある学生たちには良い刺激でした。今、困難をかかえている人は増加する一方です。人の気持ちに寄り添える皆川さんだからできることがたくさんあります。おおいに期待しています。

朝倉 淳也

森の風法律事務所 代表弁護士

政治家は「言いつばなし！」の人が大部分なのですが、皆川さんは、「計画→実践→評価→

改善」という、いわゆるPDCAを愚直に実践されています。なかなかできることではありません。国分寺市の市政に際し、余人を以て代えがたい方だと思い、推薦する次第です。

佐藤美代子

いずみ助産院 助産師(岩手県花巻市)

りうこさんは、女性活躍と子育て支援に熱心に取り組んでおり、言葉だけではなく信念を持ち、市のために活躍してくれると信じ、応援しております。

芋生多恵子

NPO法人こども未来ラボ 理事長
特別支援教育士

「一人の子どもが育つには村が丸ごと必要である」アフリカの諺です。多様化する子どもたちの自立に責任を持つべき大人たちの思いを実践している皆川りうこさんを推薦致します。

辻よし子

あきる野市議会議員
国分寺市出身(国分寺市立2小、3中を卒業)

皆川さんとは無所属議員の集りである三多摩議員ネットで地方自治等について共に学んでいます。私の生まれ育った国分寺市が女性や弱者の視点を大切にしたい優しい街であり続けるためにも皆川さんが是非とも必要です。

月下 和恵

パネルンアター作家・東京保育専門学校講師
羽田幼児教育専門学校講師

議会報告の活動日誌では、様々な現場に足を運んでいることが分かります。現場や当事者に寄り添った姿勢を賞き、これまでの経験と実績を政治の場に活かしていただきたいです。

橋本 泉 中小企業診断士

山田 真 小児科医